

////////////////////////////////////

いわて マナビィ マガジン

No.142 2017. 8.25

////////////////////////////////////

今年は例年になく雨が深い夏となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

小・中学校では、夏休みも終わり、2学期がスタートし、校舎中に子ども達の元気な声が響き渡っていることと思います。

夏休みに娘の所属するスポーツ少年団の遠征で埼玉県鴻巣市に行く機会に恵まれました。気温が高い中での活動で子ども達の体調を心配しましたが、小雨が降るなど思ったより活動しやすい気候でした。

娘が希望し、「やってみたい」と始めた活動ですが、入団当初のプレーを見て、少し心配になりました。周りの子ども達と一緒に活動している娘を見比べ、ボールの扱い、身のこなし等がうまくできていなかったからです。入団後、一年を経過しようとしている今、少しずつ変化が見られ、周りの動きに反応できるようになってきたようです。

その間、監督をはじめ、コーチの方々からの指導、団の先輩からのあたたかい声かけ等の対応があったからこそと思っています。困っていれば声をかけてくれる先輩たち、保護者の方々、娘にとって成長できる恵まれた環境です。

人は一人では生きているのではなく、人に支えられながら生きているのだということに再認識しました。このことを今後、娘に伝えていきたいと考えています。

さて、今回は、センター情報を中心にお伝えします。

\*\*\*\*\*

#### センター情報

\*\*\*\*\*

今週、22・23日（火・木）と県立県南青少年の家で実施しました「放課後児童支援員認定資格研修」についてお伝えします。

今回の県南会場は101名の方々が受講しました。

この資格研修は、国が平成27年度に「放課後児童支援員」の資格を制度化

して、次の目的等により実施されています。

- ①一定の知識及び技能を有すると考えられる基準に該当する方が対象
- ②放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）に従事する放課後児童支援員として必要な知識及び技能を補完
- ③新たに策定した基準及び放課後児童クラブ運営指針に基づく放課後児童支援員としての役割及び育成支援の内容等の共通の理解
- ④職務を遂行するうえで必要最低限の知識及び技能の習得とそれを実践する際の基本的な考え方や心得の認識

研修項目・科目、研修時間数は、以下のとおりです。

<研修項目>

放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の理解の他、5項目

<研修科目>

放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容の他、15科目

<研修時間数>

24時間（1科目90分×16科目）

本県では、国立岩手山青少年交流の家、県立県南・陸中海岸・県北青少年の家の4か所で、前・後期2日間ずつで計4日間にわたって実施されています。

認定研修の全科目を履修し、レポートを提出した受講者に対して修了の認定を行い、全国共通の「放課後児童支援員認定研修修了証」を県知事名で交付するものです。

湿度が高く、暑い中での研修でしたが、体調を崩す受講者もなく、無事に終えることができました。

（後期は、11/14・15（火・木）に同会場で実施する予定）

放課後児童健全育成事業に関わる皆様が、この認定研修を修了され、支援者として各地域において安全で安心な子どもの居場所づくりの中心となり、次代を担う子どもたちの健全な成長が図られることを願っています。

次に、当センターが9月に実施する事業についてお知らせします。

<子育て支援活動交流研修会 4日（月）>

子育てを取り巻く貧困の実態、地域で支える効果的な子育て支援のあり方、子育て支援者のネットワーク作りの重要性を理解することを目的に実

施します。

内容は、講義、事例発表、ワークショップです。

講師 櫻 幸恵 氏（岩手県立大学社会福祉学部社会福祉学科准教授）

事例発表者 佐藤昌幸 氏（特定非営利活動法人いなほ代表理事）

<放課後子ども総合プラン指導者合同研修会② 6日（水）>

様々な子どもの遊びと育ちに関わるうえでのポイント、子どもにとっての遊びの本質やそれを支える大人の関わり方を理解することを目的に実施します。

内容は、講義・演習です。

講師 矢生秀仁 氏（こども環境デザイン研究所代表）

<読書ボランティア研修会〔宮古会場〕 12日（火）>

子どもの読書活動の推進に関わる知識や技術、子どもの読書活動を活性化のため地域のネットワーク構築に向けた手立てを探ることを目的に実施します。

内容は、講演、実践発表、ワークショップです。

講師 村上淳子 氏（作家）

実践発表者

新渡戸智子 氏（読書ボランティア団体胆江ゆめネットワーク代表）

菊池千賀子 氏（同事務局長）

<子どものまなびを支えるセミナー 14日（木）>

子どもに寄り添う事業のあり方を理解するとともに、人のつながりを生み出す方法について学ぶことを目的に実施します。

内容は、講義、事例発表、情報交換です。

講師 天野和彦 氏（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任教授）

事例発表者 高谷淳子 氏（みどりの子ども会世話人）

柏崎未来 氏（一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校理事）

上記の他に26日・27日（火・水）に県立陸中海岸青少年の家で放課後児童支援員認定研修〔前期〕を実施します。

各事業の実施要項、申込み等については、下記ホームページをご覧ください。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/29youkou/29youkou.html>



このメールマガジンは、県内小・中学校、義務教育学校、社会教育関係者及び生涯学習・社会教育に関心を持たれている登録者の皆様に無料で配信しています。ご意見・ご感想、登録・登録解除は下記アドレスにご連絡ください。⇒ E-mail ; [takashi-kuji@pref.iwate.jp](mailto:takashi-kuji@pref.iwate.jp)

メルマガのバックナンバーをセンターHP「まなびネットいわて」で閲覧できます。⇒ <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>

左下の「発行物・刊行物」>「いわてマナビィマガジン」をクリック



発行：岩手県立生涯学習推進センター（花巻市北湯口2-82-13）

編集：久 慈 孝